

## 短歌を詠もう

毎日が暇過ぎて無理どうしよう暇で暇であゝ暇過ぎるのだ (高校生女子)

多くの人は課題に励んでいると思いますが、課題を終えた人の中には、この短歌のような気持ちの人もあるかもしれませんね。短歌は、五七五七七の五句三十一音で表現される定型詩です。喜びや悲しみ、苦しみなどを表現することで、自分自身を見つめ直すことができます。感情が込められた作品は、人の心を打ち、生きる勇気すら与え、その意味からも優れた文学活動と言えます。

自宅で過ごす時間が増えた今、自分の気持ちと向き合つて、鬱々とした気持ちを三十一文字に乗せて吹き飛ばしてみませんか。

### ルール

(1) 基本的に字数(音数)は五・七・五・七・七を定型とする。  
ただし、字余り、字足らずの例外も可。

音数の数え方

①拗音(小さな「やゆよ」「あいうえお」)は前の字と合わせて一音と数える。

(例) カフェオレ …四音

②發音(小さな「っ」「は」)はこれだけで一音と数える。

(例) バット …三音

③長音(伸ばす「ー」「」)はこれだけで二音と数える。

(例) ボール …三音

※決まりの音数よりも多いものを「字余り」、少ないものを「字足らず」という。

また、短歌は一首(しゅ)、二首…(しゅ)と数える。

問 次の言葉は何音か。

①ソイラテ ( ) (音) ②シュノーケリング ( ) (音)

③バスケットボール ( ) (音) ④兵庫県立神戸高塚高等学校 ( ) (音)

(2) 心の揺れ(感動、喜び、楽しさ、悲しみ、苦しさ、辛さ、怒りなど)について事実を細かく述べてうたう。

(3) ありきたりの表現ではなく、リズムをつけた詩的表現を心がける。

ワーク1 (1)~(3)のルールに注意して短歌を詠み、左の欄に平仮名で書こう。

\*一マス=一音として使う。


ワーク2 ワーク1で詠んだ短歌を句切りのスペースを空けずに、漢字を用いて

書こう。

